

CASE STUDY

丸善石油化学株式会社

Ross ERP を導入して経営データの一元化を実現し、TCO を大幅改善





顧客概要

丸善石油化学株式会社
Maruzen Petrochemical Company Limited

設立 1959年10月10日
本社 東京都中央区入船
資本金 100億円
従業員数 776名
売上高 3,561億円 (2012年度)

事業内容

エチレン、プロピレン、ベンゼン等の基礎石油化学製品、メチルエチルケトン等の溶剤およびポリパラビニルフェノール等の新素材などの輸出入、製造、加工および売買

業界

石油化学工業

APTEAN ソリューション

Ross ERP

課題

- 経営データが部門システムごとに管理され、一元化されていない
- 経営データの集計作業負担が大きい
- システムの TCO 負担が大きい

投資効果の概要

- ERP パッケージ導入により業務プロセスの基準化と購買・生産・販売・会計のデータ一元化を実現
- DCS の実績データを活用する MES と品質管理を ROSS ERP へ統合連携
- 自社開発・運用の基幹システムをパッケージに移行、運用アウトソーシングを含め TCO を徹底改善

企業概念

丸善石油化学グループにおいてグループの中核を担う丸善石油化学は、石油化学コンビナートの核となるエチレンセンターとしてコンビナート各社の原料となる基礎化学製品「エチレン」の製造・供給を主要事業としています。また、当エチレンセンターの生産能力は、国内生産量約 15% を占めており、国内最大級といわれるまでに発展しています。

「化学技術を基盤とし、くらしと産業の健全な発展に貢献する」ことを企業使命と位置づけ、

- ・「適正かつ安定的な利益を追求する」
- ・「安全ナンバーワン企業を目指す」
- ・「顧客に信頼される価値を創造する」
- ・「未来を見据えて変革し続ける」

という4つの経営方針に基づき、安全の確保、事業の発展に取り組んでいます。

ソリューションご導入の背景

システム毎に独立していたデータの一元化と自社開発・保守型の情報システム事業のコスト改善を図るために1999年4月より基幹系システムの再構築の検討を開始しました。これにより、「業務フローの改善とシステム再構築」を目的としたプロジェクトを発足。システム構築には、ERPを始めとするシステムのパッケージへの移行を基本方針とし、選定にあたっては、ホストAS/400にとらわれずに、再構築の目的、業務プロセスへの適合や業界での導入実績、業務知識とコンサルテーション能力、コストパフォーマンスを基準にしたベンダー選定を行いました。最終的に2社のERPパッケージを比較検討した結果、業務知識とコンサルテーション能力を評価し、「ROSS ERP (旧製品名：iRenaissance)」に決定しました。

翌2000年3月からは、下記目標の実現を目指し、ROSS ERPの販売・原料購買・在庫の3モジュールの導入と生産管理・原価計算の2モジュールの計5モジュールの導入・構築プロジェクトがスタートしました。

システム構築の目標

- (1) 月次損益計算の早期化 (12～15営業日⇒6営業日)
- (2) 生産、販売、会計に至るまでのデータの一元化
- (3) 各システム間の転記再入力にかかる工数の削減
- (4) システムのERPパッケージ化による運用・保守を含めたコスト削減

2001年4月には、関連会社2社を含めて本稼働し、プラットフォームもAS/400からRS/6000に移行しました。なお、会計システムは、AS/400ベースのシステムを継続して使用していましたが、2003年4月にROSS ERPの会計に移行しました。

また、2012年にはプラットフォームをWindows2008 R2 Serverに、DBMSをSQL Serverに変更し、運用を継続しています。プラットフォーム/DBMSの変更に際しては、ROSS ERPのアプリケーション機能を変更することなく、稼働環境であるGembase (現IAF: Internet Application Framework) のバージョンを上げるだけで、容易に対応することが出来ました。

導入プロジェクト体制

プロジェクトの基本方針と体制

基幹システムの再構築に際し、次の基本方針を徹底し、ERPパッケージを主とした情報システムの高度化とエンドユーザー主体の業務プロセスエンジニアリングにより経営効率の向上を目指しました。

- (1) システム化の前にまず業務改善を徹底する
- (2) ユーザー主体のシステム構築を進める (ユーザー参加型のプロジェクト結成)
- (3) カスタマイズは必要最小限にとどめる
- (4) 投資対効果を重視する

また、導入/開発プロジェクトのコンセプトを以下とし、情報システム部門長がリーダーとして、業務エリア毎にエンドユーザー主体の体制を構成しました。

- ・社長直轄のプロジェクトチーム構成
- ・業務毎にプロジェクトメンバーを選定
- ・メンバーはユーザー部門のキーマンを事務局が指名
⇒選定の基準は業務改善の判断/決定がその場でできる者となりました。

導入スケジュール

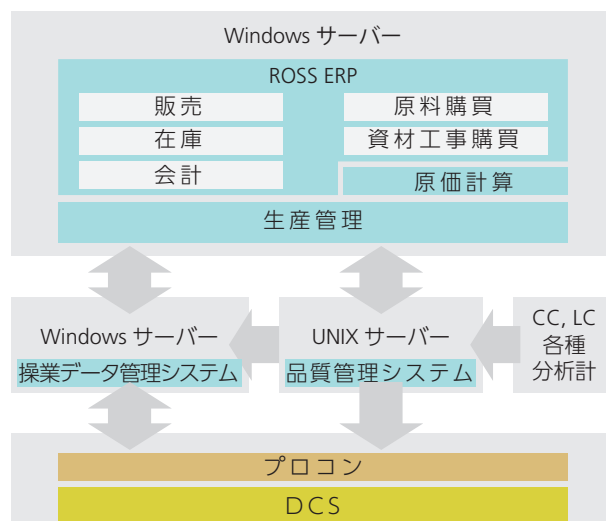
以下のスケジュールは、ほぼ計画どおり進み、2001年4月2日には予定通り本稼働しました。

Year1										Year2					
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
F&G 分析		基本設計 詳細設計			開発 単体テスト				結合 テスト	データ移行	ST	運用 テスト	本稼働 定着化 支援		
教育															

導入効果

本稼働後には、バッチ（月次）処理からリアルタイム（日次）処理への移行および月次損益の早期化（12～15営業日→6営業日）などの目標を達成しました。帳票系は、BIツールの活用をエンドユーザーに開放することにより、データ一元化による信頼性の高い管理帳票類の作成を実現しています。また、品質管理パッケージと ROSS ERP との連携によりロット試験結果やオーダー情報を双方向に連携して、迅速かつ正確な出荷判定を実現しました。

システム概要



ROSS ERP: サーバー：Windows Server 2008R2
 クライアント：Windows 7
 導入／開発：
 販売管理、原料購買、在庫管理、
 生産管理、原価計算、資材工事購買
 連携システム：BI ツール
 (ビジネスオブジェクト)

掲載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商品または商標です。



アプティアン・ジャパン

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-8-8 大星八重洲ビル 6F Tel : 03-3275-5080 Email : info-japan@aptean.com

世界各国で 9,000 を超える企業が Aptean のソリューションを活用し、市場での競争力を高めています。Aptean は業界をリードする革新的なエンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェアを提供することで、企業がそのお客様を満足させ、また最も効率的な業務遂行を実現し、業界トップの座を獲得することを支援しています。詳細は、www.aptean.com を参照してください。